

## 平成 25 年度 兵庫連盟版 ベンチャー活動支援について

ご存じのように兵庫連盟では、毎年の恒例行事として、「ベンチャーフォーラム」、「ベンチャー活動(アワード)報告会」を開催してきました。フォーラムについては 31 回の伝統行事になっていますし、ベンチャー活動報告会は 100 名近くが参加する大イベントになっています。

また、昨年からは、県フォーラムの採択を受けて取り組んだ、各隊・各地区の活動を報告し、さらに先の活動につなげる「アフターフォーラム」も開始しました。特に平成 24 年度は、2 年に 1 度の全国スカウトフォーラムが開催され、県代表として神戸 2 団の渡邊 将玄君が参加しましたが、その後行われたアフターフォーラムでは、全国フォーラムの採択事項に基づいて、県として新たな採択文が決議され、今後のアクションプランが提示されたことでした。

このように県としてはベンチャー活動を支援するべく、要となるイベントを設定しています。しかし、残念ながら、それらが県下の各隊で活かされているとはいえません。

2 回のフォーラムやベンチャー活動報告会で得たことを隊活動のヒントにして、実際にアクティブな活動をして欲しい。

また、スカウトの意志が、隊のフォーラムから地区・県へと流れ、全国のフォーラムで検討されて採択事項として盛り込まれ、それがまた自分たちの行動指針となるというサイクルに、自らを投入して欲しい。

県としては、そのようなシナリオを考えてはいるのですが、こういった流れは、実際に関わった一部のスカウトが知っているだけで、広くは認知されていないのが現状です。

そこで、今年度は、スカウト委員会・ユース委員会、それに県連盟コミッショナークルーが協働して、県のベンチャー活動の認知を高め、活動を活性化する工夫をすることにしました。

まず、「ベンチャー活動月間」の設置です。今までどおりのフォーラムと活動報告会という 2 本の柱の間にベンチャー活動月間を設けます。この月間では、フォーラムでの採択事項を、各隊の活動の中で実践するようにします。そうすることによって、フォーラムの採択事項を自分たちのものにしてもらいます。

また、現在実施中である「全国フォーラムの採択事項」を周知させる努力をします。この後の文章には、その採択事項が詳しく載っていますが、よく読んでください。今後も機会があるごとにこの採択事項を紹介して、各隊での取り組みを促します。

以上のような活動・工夫を通じて、平成 25 年度は、県におけるベンチャーの活動がよく見えるようになればと思います。各地区・各隊におかれては、この機会をせいぜい活用いただきますよう、お願いいたします。

平成 25 年 2 月 10 日 県連盟コミッショナー 森地 一夫

# 平成 25 年度 兵庫連盟版 ベンチャー活動支援の流れ

兵庫連盟副コミッショナー 家門 秀行

## 県連主催事業について

平成 25 年度のベンチャー部門に対する県連主催事業は以下の通りです。

1. 兵庫連盟ベンチャースカウトフォーラム（8月31日～9月1日）
2. ベンチャースカウト活動月間（10月）
3. 兵庫連盟ベンチャー活動報告会（12月8日）

平成 25 年度は、10 月を「ベンチャー活動月間」と定め、全県下で各団・各地区のプロジェクトが実施展開されるよう、ベンチャー部門指導者各位による支援をお願いします。

## ベンチャー活動の方針

平成 24 年 11 月 23 日～25 日に福島県で開催された「第 19 回 全国スカウトフォーラム」を受けて、平成 25 年 1 月 20 日に「第 2 回 兵庫連盟ベンチャーアフターフォーラム」が開催され、以下の事項が採択されました。

### 採択文 A：「信頼関係」と「風水害の正しい知識」を広めよう

#### アクションプラン：

- ◎ B V S ・ C S 対象に（実験的展示・ゲーム）行った後（改善・修正し）、地域のイベントで地域の子供対象のブースを作り、水害の説明。ゲーム(土嚢運び)を行い、参加者に意識調査のアンケートを受けてもらう。
- ◎ 地域社会との信頼関係を築くために地域活動に積極的に参加・奉仕を行うと同時に、ビラ配り・パネル展示を行う。

#### 提言文：

- ・ 消防署への依頼
- ・ 市のイベント(小規模)にブースを出展させてもらえるよう依頼
- ・ 自分たちへの事前講習の依頼

**採択文 B：各地区のスカウト全員で避難所をよりよくするために  
今、自分たちが出来ること**

**アクションプラン：**

- ◎緊急時に必要な技能を身につける。避難所ラリーを行う。主に、チェックポイントで最低限のもので作るテント、応急処置の方法
- ◎障害者について考える
- ◎地区で避難所チェックを行う
- ◎被災者の心のケアを行う
- ◎福祉施設を訪ねて話を聞く  
(住民数など把握・それに基づく物資の量も把握する)

**提言文：**

- ・各地区の団に呼びかけ
- ・ビーバー・カブ・ボーイ年代のスカウトに呼びかけしてもらう。
- ・他団体の専門家等との連携

これを受け、各地区・各団はアクションプランを具体化し、プロジェクトの実施展開に向けて取り組んで下さい。(プロジェクトの形態は個人・グループ・隊・地区・複数の地区合同のいずれでも構いませんが、基本的に県下の全団が取り組まれることを期待します)

**支援の流れ**

上記のアクションプランをプロジェクトとして具体化するために、可能であれば地区アフターフォーラムを開催し、各団に周知して下さい。(アフターフォーラムに代わる方法で伝達しても構いません)  
県フォーラムは8月31日～9月1日の1泊2日(場所は未定)で行います。

メインテーマ：「**Creating a Better World** (『よりよい世界を創ろう』)」

サブテーマ：「環境被害や自然災害に備える」

参加スカウト：プロジェクトのチーフ (必要であればマネージャー)

(地区全員が個人プロジェクトの場合は全員が対象です)

それに向けて、各地区は下記の流れに沿って準備をお願いします。

1. 隊活動・地区フォーラム等を通じてプロジェクトの企画・計画を進める
2. 県フォーラムで、そのプロジェクトの中間評価とブラッシュアップを行う
3. 10月に全県下でプロジェクトの実施展開を行う
4. ベンチャー活動報告会で、そのプロジェクトについて発表を行う
5. プロジェクトの評価反省に基づき、次年度のプロジェクトに向けて準備を始める

10月の「ベンチャー活動月間」は新しい取り組みです。スカウト委員会のホームページに全プロジェクトの計画および報告を掲載することで、ベンチャー活動の「活性化」と「見える化」を図ります。もちろん、目的は「活性化」と「見える化」ですから、プロジェクトの実施展開時期を10月に限定する訳ではありませんし、16NJに絡めたプロジェクトも積極的に掲載して行きたいと思えます。

また、全国フォーラムの採択事項の1つをベースに、県連としてプロジェクト(PDCA サイクル)を展開し、その結果を持って2年後の全国フォーラムにつなぐという試みも初めて行います。このサイクルが軌道に乗るためには、各段階での適切な指導が必要となりますので、ベンチャー部門の指導者各位の御協力をよろしくお願いいたします。

なお、「ベンチャー活動報告会」の対象は当該プロジェクトだけでなく、全ての活動を含みます。発表者の募集は11月上旬に行い、11月24日(日)までにパワーポイント等の発表資料の提出をお願いします。「ベンチャー活動報告会」はプレゼンテーション能力の開発という側面もありますので、パワーポイント等の使用に関し、各隊指導者による支援も合わせてよろしくお願いいたします。

